

特別徴収仕切紙

【個人住民税(市民税・県民税)を給与から差引きする】

【指定番号】 貴事業所で分かる場合は記入してください。
分からない場合は空欄にしてください。

--	--	--	--	--	--	--	--

特

事業主の方は、特別徴収義務者として、法人・個人を問わず、原則すべての従業員について、個人住民税を特別徴収とすることが地方税法により義務付けられていますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。ただし、普通徴収切替理由の記号A～Dに該当する方は除きます。

特別徴収の対象者の人数を記入し、対象者の個人別明細書の先頭につけてください。対象者がいない場合は「0人」と記入してください。

事業所

対象者人数
(給与差引)

人

普通徴収切替理由書 兼仕切紙

【個人住民税(市民税・県民税)を給与から差引きしない】

【指定番号】 貴事業所で分かる場合は記入してください。
分からない場合は空欄にしてください。

--	--	--	--	--	--	--	--

普

普通徴収切替理由	記号	略号	人数
退職者・5月末までに退職予定の方 (休職者を含む。)	A	退職等	人
給与の毎月支給額が少なく、特別徴収しきれない方	B	少額	人
給与が毎月は支給されない方(不定期支給)	C	不定期	人
他の事業主から特別徴収されている方(乙欄該当者)	D	乙欄	人
普通徴収対象者 合計人数			人

上記A～Dに該当する場合は、個人別明細書の摘要欄にも、記号と略号(A退職等、B少額、C不定期、D乙欄)を記入してください。または、普A、普B、普C、普Dと記入してください。上記A～Dに該当しない場合は、すべて特別徴収となります。